

特権的な

地方議員年金制度は廃止を 年金制度は一本化に

埼玉県市民ネットワークは、
「変えなきゃ」議会2007自治体議会改革フォーラムに賛同しています。



年金問題が国民の大きな関心事となつていま
す。しかし、国民がわずかな年金をもらえるか
どうか不安を抱えている一方で、多額の税金を
投入しながら特権的内容を維持し、運営されて
いる年金があります。

それが「地方議員年金」
です。

神奈川ネットの呼びかけにより開催
された「なくそう! 議員年金」
緊急フォーラム
参加者全員、制度廃止に向けて各地
で取り組む決意を表明



埼玉県市民ネットワーク

共同代表 神田 順子
336-0031 さいたま市南区鹿手袋 2-4-15-101
eメール sai-pring-net@asahi-net.email.ne.jp
TEL/FAX 048-839-6671
http://sai-net.cool.ne.jp

地方議員年金ってなに？

地方議員年金制度は、1961年発足。基本的には加入者の掛付け金によって運営される地方議員の互助制度でした。しかし1972年から公費の投入が始まり、現在では、月額議員報酬の13〜16%を保険料として納める一方、10〜16.5%が自治体から負担されています。

地方議員年金は在職期間12年間(3期)で受給資格が発生し、受給額は県議で年間195万円、市議が103万円、町村議が68万円で、12年未満で退職・死亡した場合も一時金が支給されます。また、国民年金や厚生年金などの重複受給も可能です。25年以上払い続けなければ受給できない国民年金と比べ、12年未満でも50%以上の戻しのある地方議員年金は「特権的」内容といわざるを得ません。

破綻寸前の地方議員年金

この地方議員年金が破綻の危機に陥っています。いわゆる「平成の大合併」によつて1999年には約3200あった市町村が約1800まで減少しました。その影響で議員数も減少。さらに行財政改革の一環としての議員定数削減の

ありも受けて議員共済会の会員数が激減しているのです。一方、引退した議員の増加によつて年金給付総額は上昇。現役会

員1人が3人の受給者を支えている状況です。このまま行けば2011年には積立金も底をつき、制度が破綻する可能性が濃厚な状況です。

9年間で赤字が約14倍に!
(市・町村議会議員共済会の収支状況)

年度	収入	支出	赤字額
1998年	504億円	517億円	-13億円
2003年	549億円	695億円	-146億円
2007年度	524億円	708億円	-184億円

さらなる税金の投入は許されるの？

地方議員年金制度を運営する都道府県、市、町村議会の各議員共済会が共同で設置した「地方議会議員年金制度に関する研究会報告書」(以下、「報告書」)では、「国策として進められた市町村合併に身をもって協力した

市町村議会議員の強い思いを受け止め、公費のさらなる投入を提言しています。

しかし、年金制度に対する国民の不安が広がる中で、特権的な内容の議員年金を延命させるためにさらなる税金の投入には批判の声もあがっています。

年金一元化を

「報告書」によれば、地方議員年金を廃止した場合でも、掛け金を払った議員への返還やすでに年金を受けている人への支給などによつて、約1兆3000億円の公費負担が避けられないとしています。ちなみにやはり特権的内容が批判されて廃止された国会議員年金は、掛け金の8割返還か給付の15%カットかの選択となっています。

埼玉県市民ネットワークは、これまで一貫して議員年金のあり方を批判し、2期8年のローテーション制によつて議員年金をもらわないことを実践してきました。また徳島県小松島市では、市議7人が地方議員年金廃止を求め、議員報酬からの掛け金の天引きを拒否するなど、地方議員の中から制度廃止を求める声があがっています。

存続すればするほど税金をつぎ込まなければならぬ特権的内容の地方議員年金はすぐに廃止し、国民誰もが十分に生活できる、年金の一元化を実現するべきではないでしょうか。

埼玉県市民ネットワーク
共同代表 辻こうじ

減少する現役議員数と増える給付額

(市・町村議会共済会の会員数、受給者数)

	1999年	2008年	増減
市区町村数	3,255	1,816	-44%
会員数(現役議員数)	60,004人	35,819人	-40%
年金受給者数	79,232人	94,357人	19%
	1998年	2007年	増減
年金給付総額	499億円	652億円	31%

シリーズ『議会改革』3回目

「議長」って名誉職？

各市町の「議長の選ばれ方」を比べてみよう

地方議会の首長と議員は市民の直接選挙によって選ばれる。議会の議長は市でいえば市長さんと肩を並べる偉い人(?)である。

8月の衆議院選挙で国民は自ら選んで政権交代をさせた。もつと国民目線の政治を、税金の使い方を、透明性をと望んだ結果だ。

あちこちで議会改革の動きはあるようだ。地方議会は国政選挙で示された国民の要請にこたえられる状況なのだろうか。

今回は議会運営の要でもある議長の選ばれ方を調べてみた。本来議員任期の4年が同時に議長の任期の4年が同時に「タフイ回し」ということばが当てはまる実態が浮かび上がった。



越谷市
共産党を除く会派代表者の協議(密室談合?)。法的には4年任期だが1年で交代。

川口市
議員同士の互選。結果、過半数を超える自民党が議長、公明党が副議長。大体1年で交代。

富士見市
「与党懇談会」で話し合い議長2年、副議長1年。

所沢市
代表者会議を開き立候補者を発表。議場投票で決める。

鴻巣市
毎年5月に議長・副議長選出のための臨時議会開催。会派間で調整、最大会派が、第2勢力の会派の今期で引退する議員を選出、はなむけとする慣習もあるようだ。

三芳町
会派内で候補を絞り(一党派で複数でたこともある)議場投票で決める。申し合わせは一年だが今期は再選で3年目。現在の共産党議員による、3年継続副議長は過去に例がない

韓国の生協と政治

韓国生協全国連合会と生活クラブ連合会との交流会に参加して

富士見市民ネットワーク 藤本敦子

10/23ソウルで開かれたフォーラム「地域社会づくりにおける生協の役割」に参加し、生活クラブ生協の代理人運動とネット運動の歴史、課題などについて報告してきました。

キム・ヘスクさん(左)と筆者



韓国側からは城南市議のキムヘスクさん(住民生協前理事長)より、立候補の経過と当選後の成果について報告がありました。私は3年前彼女の選挙事務所を訪問、当選後の活躍を聞くことができました。(県ネット通信38号既報)

韓国では納税者が税金の使いみちに意見を言えないことから立候補を決意、生協法の規制で生協が政治に関わるのが困難なことや市民派では選挙活動に制限があることから、国

政党から当選。党議拘束を受けることはなく、市民の代表として議会活動を行っています。成果として、学校給食への有機農産物使用(差額は税金から)や小学校給食費無償化(来年中学校も)など。また、各地で2010年統一地方選に生協候補者を出すよう説いてまわっているとのこと。

韓国でも地域に生活者政治が広がる事を願います。

講演会

政権交代した今こそネットの定番!

政権交代から3カ月が経とうとしています。税金の無駄使いをなくし、国民生活第一のつかいかたに、そしてその決定のプロセスを透明化... 新政権の精力的な動きは、連日私たちの耳に入ってきています。

市民政治の実現に向けて私たちは今こそ「政治を生活の道具」として使いこなすときです。民主党・参議院議員、そして元東京ネットの代理人でもあった大河原雅子さんに話を聞きます。

【講師】 大河原雅子参議院議員

【日時】 2月6日(土) 午後2時半~4時

【場所】 生活クラブ生協本部 2階会議室 JR埼京線・中浦和
当日は資料代をいただきます

◆参加するなら市民ネットワーク◆

名称	代表	代理人	〒	住所	TEL/FAX
越谷市民ネットワーク	保田登美子	辻 浩司	343-0023	越谷市東越谷3-8-5	048-962-8052
生き生きネットワーク鴻巣	河野弘子		369-0121	鴻巣市吹上富士見3-1-12-503竹花方	048-548-5750
市民ネットワーク所沢	渡辺恭子	末吉美帆子	359-1141	所沢市小手指町1-16-10-2010-YALLO-ホ	04-2921-1414
富士見市民ネットワーク	加藤久美子 本多明美		354-0017	富士見市針ヶ谷1-26-18加藤方	049-251-8299
生活者ネットワークさいたま市	内田恵津子		330-0053	さいたま市浦和区前地3-3-12内田方	048-887-2365
ネットワーク三芳	遠藤雅子	神田順子	354-0044	人間郡三芳町北永井871-5-5-102	049-259-5196
市民ネットワークかわぐち	山野井美代		332-0023	川口市飯塚4-11-33山野井方	048-254-2841
まちネットワークよひい	大北秀子		369-1203	寄居町寄居1709-5遠藤方	048-581-9948